

2022 年 3 月期第 1 四半期決算説明

2021 年 8 月 4 日

いすゞ自動車株式会社

説明内容

1. 全体総括
2. 2022年3月期第1四半期実績

本資料における記述のうち、過去又は現在の事実に関するものを除いては、現時点で入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定及び判断に基づくものです。従いまして、かかる仮定及び判断に含まれる不確定要素や将来の経済環境の変化などを含む種々の要因によって影響を受ける可能性があり、ゆえに、当社の将来の業績、経営結果等と異なる結果をもたらす可能性があります。

取締役専務執行役員
経営業務部門、
企画・財務部門統括

南 真介

1. 全体総括

('22年3月期第1四半期実績)

- 市場の回復を受け、新型コロナウイルス感染拡大前を上回る販売を記録。第一四半期としては過去最高となる、売上高・営業利益・経常利益・当期利益となった。
- 為替環境の好転等により、想定をやや上回る結果となった。

('22年3月期見通し)

- 海外市場環境は、想定よりも堅調に推移。
- 一方、原材料価格が急騰、2Q以降に大幅な減益リスク有り。
- 新型コロナウイルス感染拡大によりアセアン中心にサプライチェーンのリスクはあるも、通期での影響を最小限にすべく各種施策を実施。
- 通期の損益見通しは変更せず。

全体総括 '22年3月期第1四半期実績

グローバル販売台数(千台)

		'22/3-1Q	'21/3-1Q	対前年比増減		'20/3-1Q
CV計	国内CV	15	14	+1	+7%	19
	海外CV	60	33	+27	+84%	49
	UDトラックス	4	-	+4	-	-
CV計		79	47	+32	+68%	68
LCV計	タイLCV	37	12	+25	+212%	41
	輸出LCV	48	18	+30	+160%	40
LCV計		85	30	+55	+180%	81
合計		164	77	+87	+112%	149

決算実績(億円)

売上高	5,296	3,274	+2,022	+62%	5,091
営業利益	593	22	+571	-	460
経常利益	622	5	+617	-	440
当期利益	464	▲98	+562	-	274

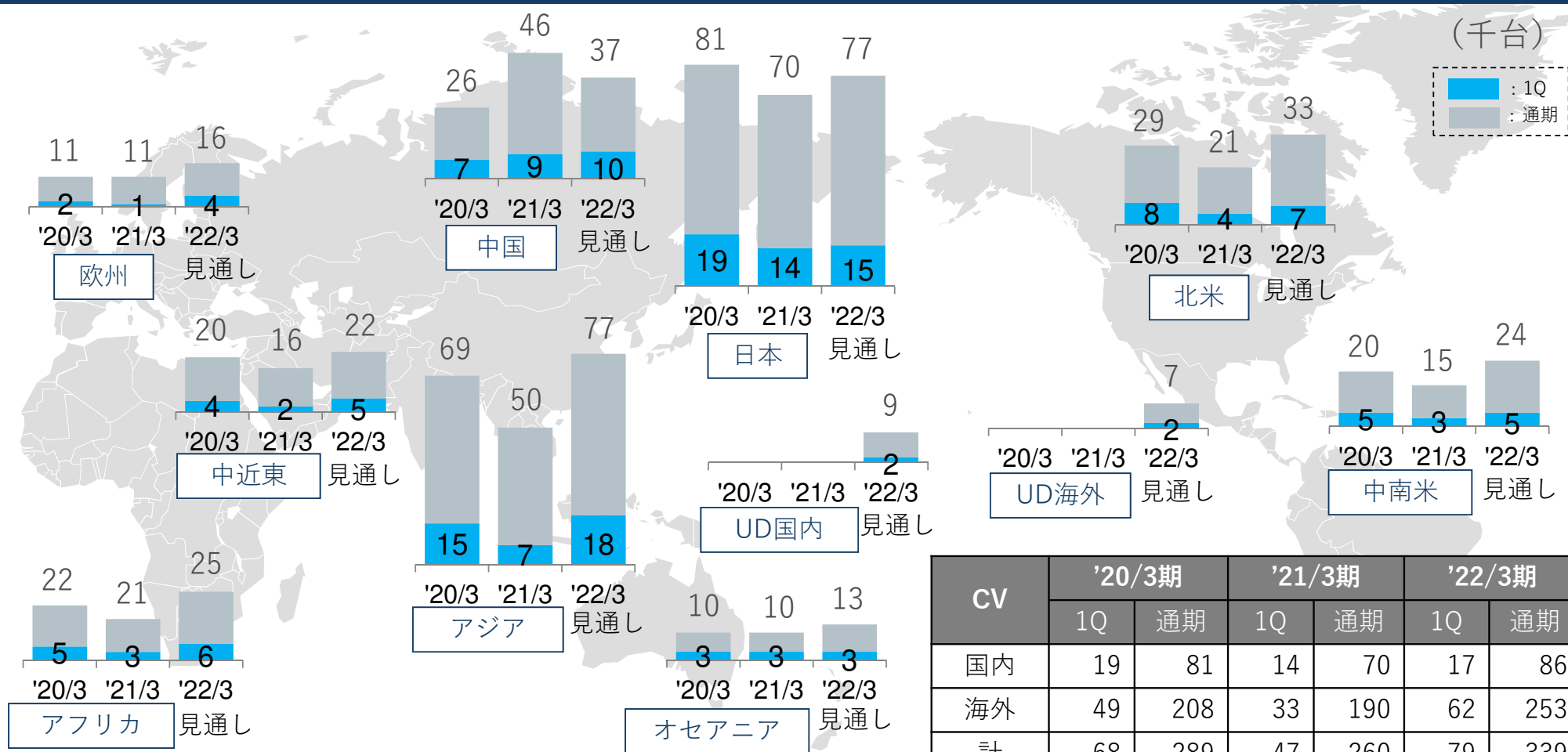
常務執行役員
企画・財務部門統括代行、
グループCFO

中俣 直人

2. 2022年3月期第1四半期実績

CVグローバル販売台数実績

■ 日本、北米を除くすべての地域で、販売台数はコロナ前の2020年3月期を上回った

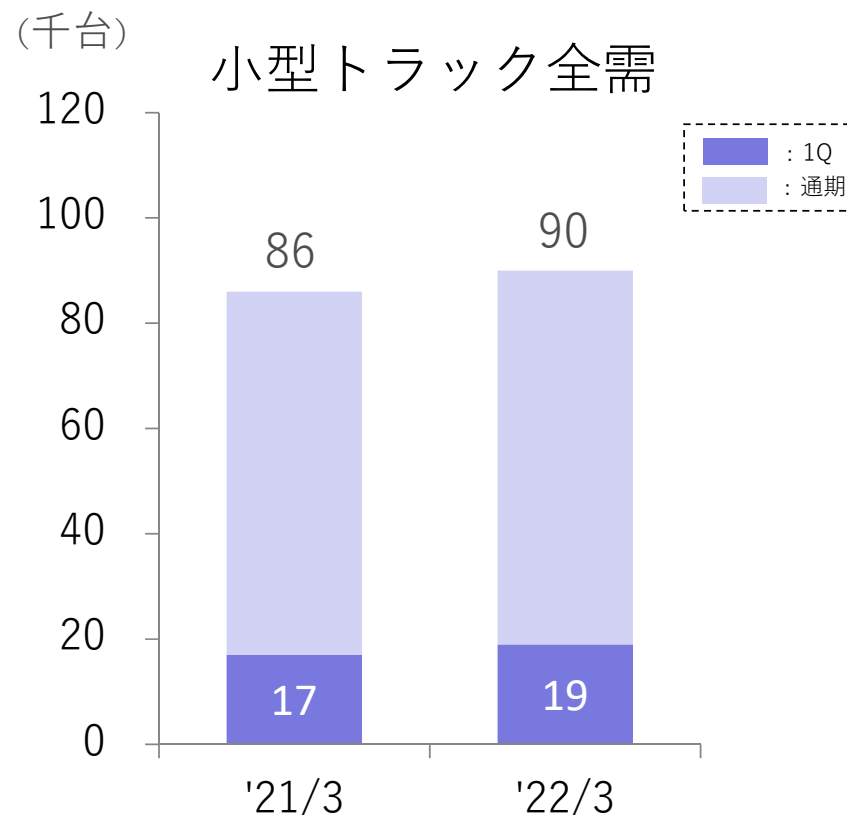
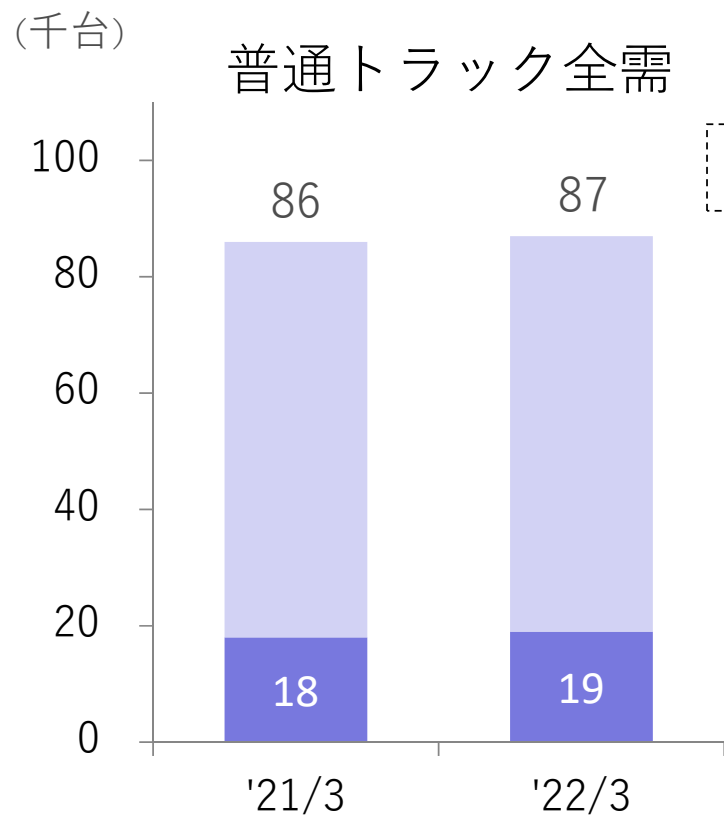


CV	'20/3期		'21/3期		'22/3期	
	1Q	通期	1Q	通期	1Q	通期
国内	19	81	14	70	17	86
海外	49	208	33	190	62	253
計	68	289	47	260	79	339

*国内CV：国内卸売・直納、海外CV：北米/豪州は現地DB卸売、その他地域は日本出荷
 *UDは1Qの販売台数、なお1Qの損益には含まれない

国内全需・シェア実績 -普通トラック/小型トラック-

- 普トラ：全需は先期並みで推移、いすゞは先期を上回るシェア、UDTは想定通りのシェア
- 小トラ：先期は新型コロナウイルス感染症感染拡大もあり、今期は全需が増加



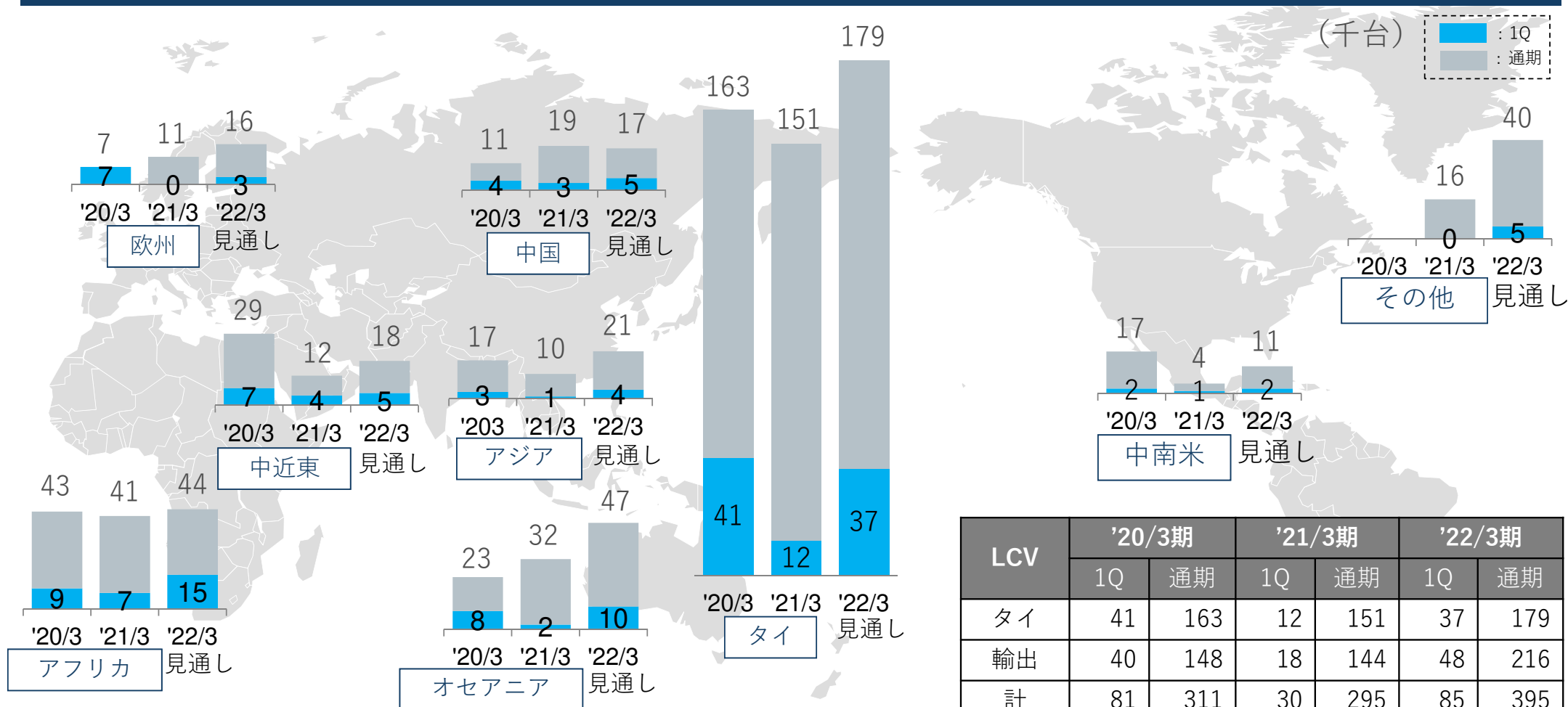
1Q
シェア
いすゞ
UDT

'21/3 31.2%
(11.4%)
'22/3 31.9%
10.7%

1Q
シェア
いすゞ
40.1%
40.9%

LCVグローバル販売台数実績

■ 半導体不足の影響を受けるも、コロナ前の'20/3期を上回るグローバル販売台数を記録

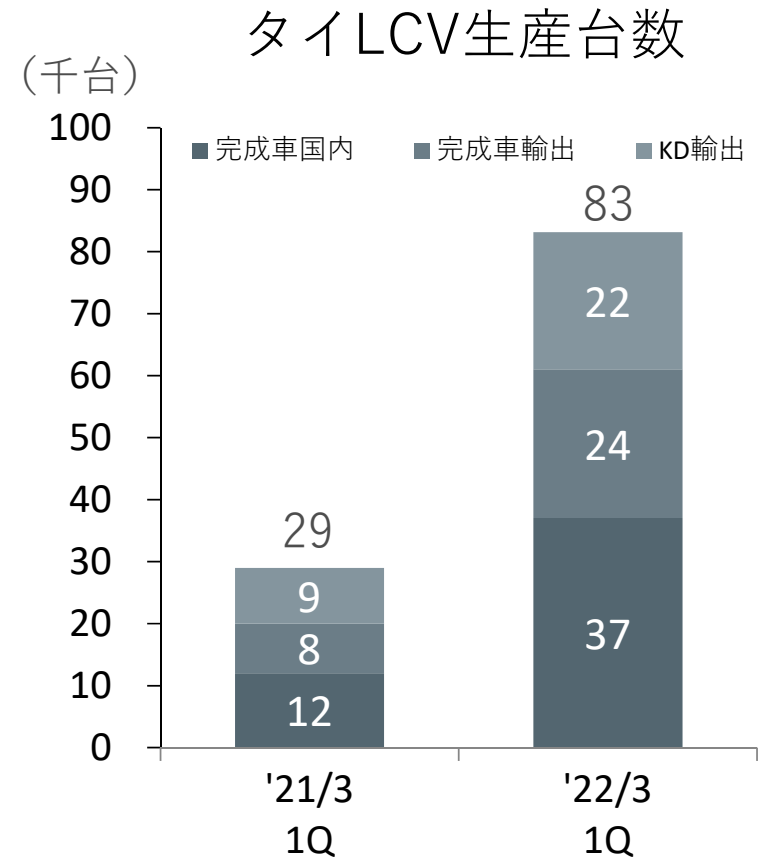
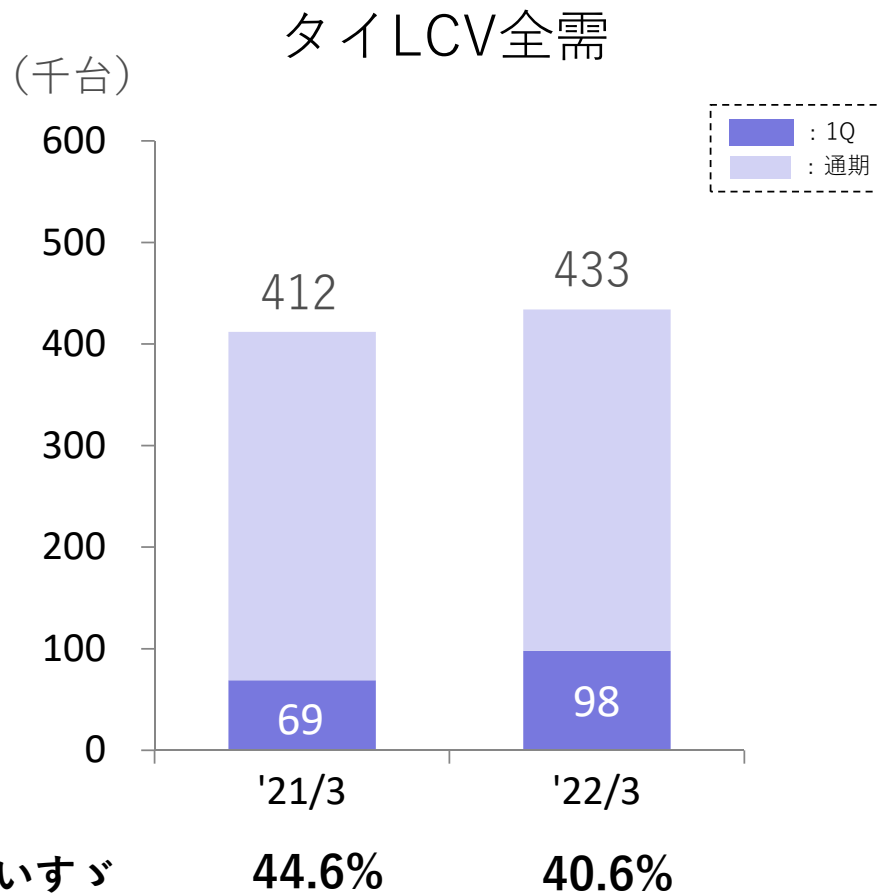


LCV	'20/3期		'21/3期		'22/3期	
	1Q	通期	1Q	通期	1Q	通期
タイ	41	163	12	151	37	179
輸出	40	148	18	144	48	216
計	81	311	30	295	85	395

10 *LCV：タイ出荷

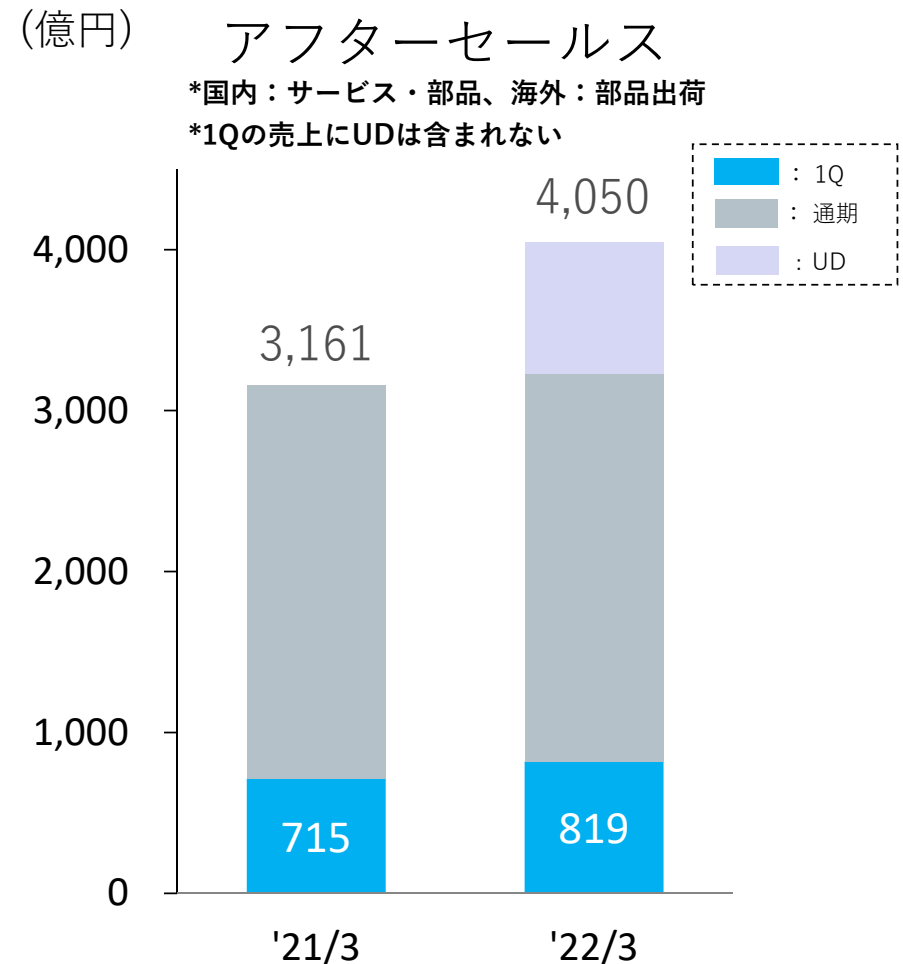
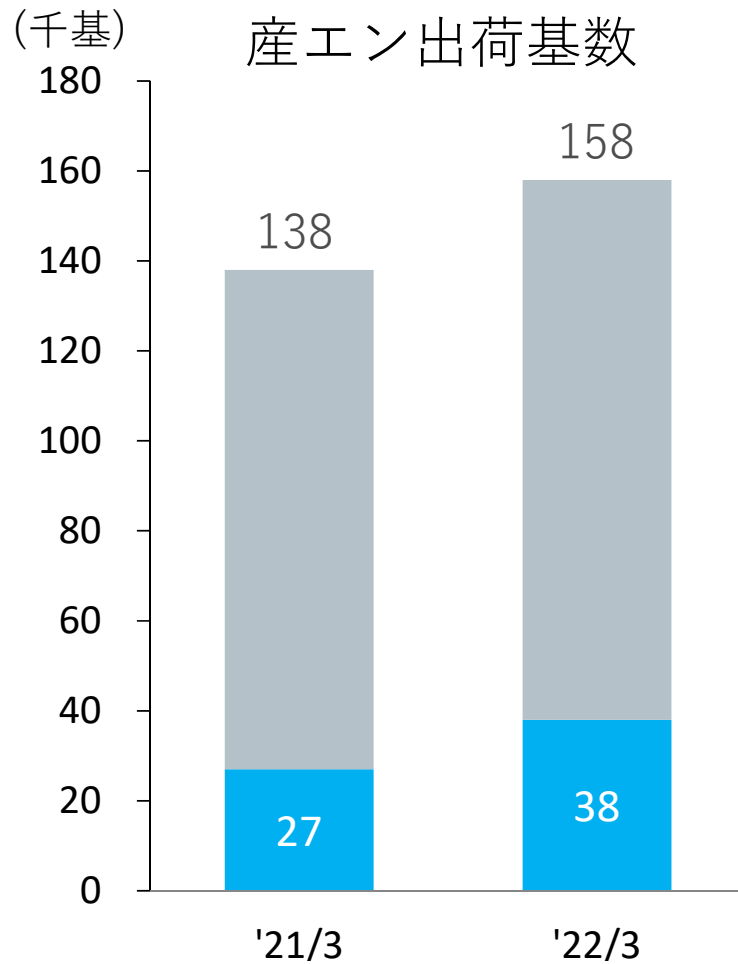
タイLCV全需・シェア/LCV生産台数実績

- 先期は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けたこともあり、タイ全需は増加
- 半導体不足の影響はあるものの、工場稼働停止期間のあった先期と比較しLCV生産台数は大きく増加



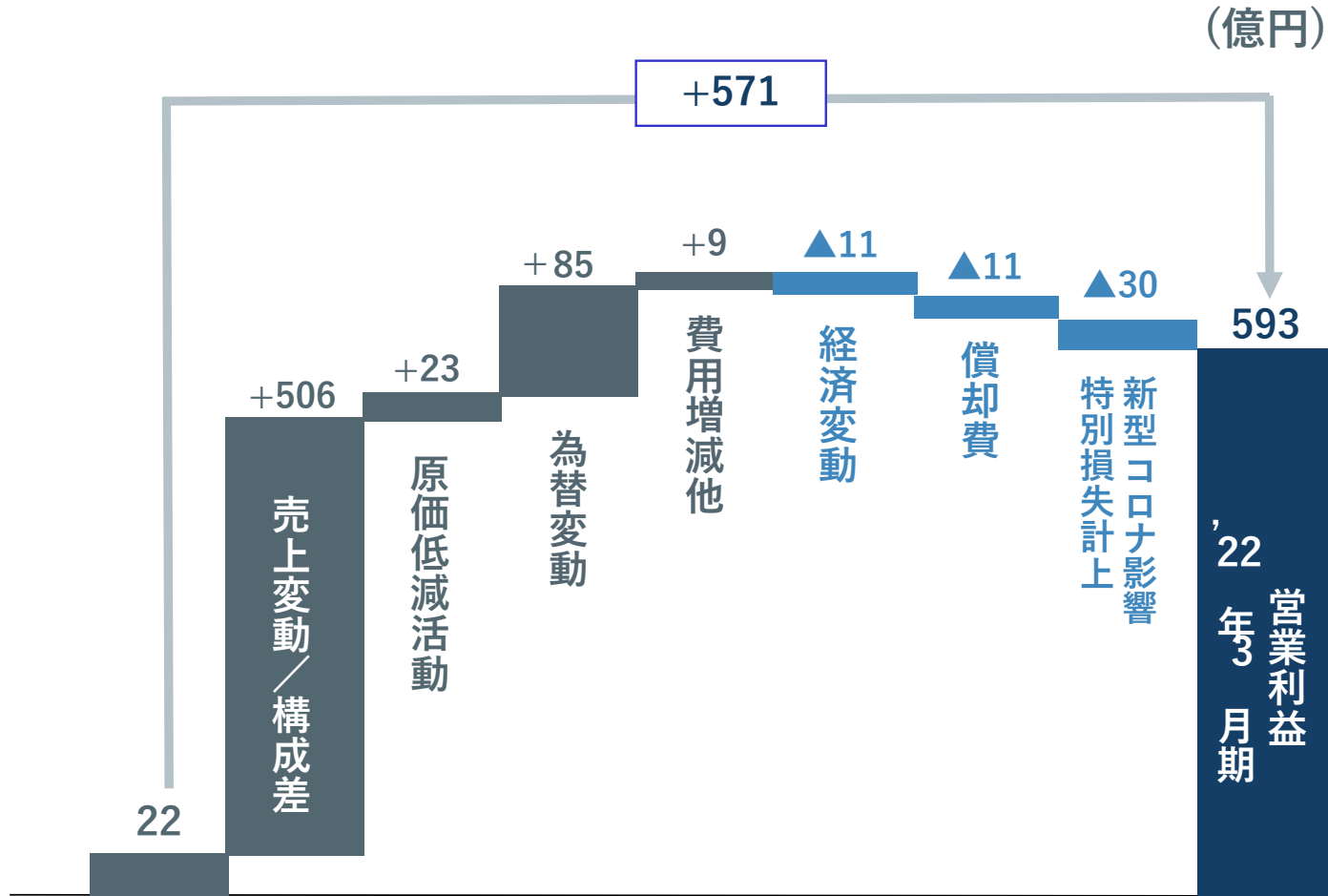
産業用エンジン出荷/アフターセールス売上

- 産エン：出荷基数は先期を上回るも、今後の中国建機需要は見極めが必要
- アフターセールス：先期は主に海外で新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが回復した



'22年3月期第1四半期営業利益実績 増減分析 -前年同期比-

- タイ半導体不足の影響あるも、VOL増加、為替変動により大幅に増益



為替実績	'21/3期	'22/3期
USD/JPY	107.6円	109.4円
THB/JPY	3.37円	3.49円
AUD/JPY	70.7円	84.3円

内訳	'22/3期
売上変動/構成差	+506
国内CV	±0
海外CV	+160
LCV	+250
その他	+96
為替変動	+85
USD	+4
AUD	+24
THB他	+57
費用増減	+9
開発費	+5
労務費	▲2
一般経費他	+6

'22年3月期第1四半期実績 -前年同期比-

(億円)	'22/3-1Q	'21/3-1Q	対前年比増減	
売上高	5,296	3,274	+ 2,022	+62%
営業利益	593	22	+ 571	-
経常利益	622	5	+ 617	-
当期利益*	464	▲ 98	+ 562	-

当期利益*	経常利益	622
	固定資産売却損等	▲4
	法人税等	▲79
	非支配株主に帰属する当期純利益	▲75
	当期利益*	464

*親会社株主に帰属する当期純利益

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

ISUZU